

## 平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 毎日コムネット

コード番号 8908 URL <http://www.maicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小野田 博幸

TEL 03-5218-8908

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	7,172	8.2	465	56.5	472	118.4	300	146.6
25年5月期第3四半期	6,627	△2.8	297	117.0	216	411.3	121	146.5

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 298百万円 (128.1%) 25年5月期第3四半期 131百万円 (156.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	33.34	—
25年5月期第3四半期	13.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第3四半期	11,923	4,922	41.3
25年5月期	11,056	4,758	43.0

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 4,922百万円 25年5月期 4,758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,950	6.1	940	12.4	910	18.8	535	22.7	59.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	9,000,000 株	25年5月期	9,000,000 株
26年5月期3Q	42 株	25年5月期	42 株
26年5月期3Q	8,999,958 株	25年5月期3Q	8,999,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(4) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、政府による各種経済対策及び日本銀行による大規模な金融緩和策を背景に、企業収益の改善や個人消費が底堅く推移するなど緩やかに回復を続けてまいりました。一方で、欧州における金融不安の長期化や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、依然として先行き不透明な状況となっております。

その状況の中、当社グループの主要顧客層である大学生マーケットにおきましては、平成25年春の大学入学者数は61.4万人、大学生総数は286.9万人（文部科学省「学校基本調査」による）といずれも過去最高水準を維持しております。引き続き、少子化時代にあっても安定的に推移する大学生市場においては、さまざまなサービス分野において学生の多様化するライフスタイルとニーズに応える低廉で高品質なサービスが求められていると言えます。

このような市場環境の中で当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門と不動産マネジメント部門の2部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の2部門からなる「学生生活ソリューション事業」の2事業（セグメント）計4部門で事業展開を図っております。

なお、第2四半期連結会計期間（平成25年11月1日付）より、報告セグメントのうち「学生生活支援事業」を「学生生活ソリューション事業」に名称変更しており、部門のうち「課外活動支援部門」を「課外活動ソリューション部門」、「開発部門」を「不動産デベロップメント部門」、「学生マンション部門」を「不動産マネジメント部門」に名称変更しております。当該変更は、セグメントの名称変更のみであり、セグメント区分に変更はありません。

特に、景気動向の影響を比較的受けにくい不動産ソリューション事業における不動産マネジメント部門は、ますます高まる学生の安心・快適な住居ニーズに支えられ順調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,172,710千円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は465,741千円（同56.5%増）、経常利益は472,951千円（同118.4%増）、四半期純利益は300,050千円（同146.6%増）となりました。

#### ① 売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は7,172,710千円（前年同四半期比8.2%増）となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は5,774,101千円（同8.8%増）、学生生活ソリューション事業の売上高は1,398,609千円（同6.1%増）となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は583,016千円（同46.1%増）、不動産マネジメント部門は5,191,084千円（同5.7%増）、課外活動ソリューション部門は1,380,800千円（同5.1%増）、人材ソリューション部門は17,808千円（同450.8%増）となりました。

#### ② 営業利益

当第3四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は1,173,206千円（前年同四半期比14.9%増）、セグメント利益は623,422千円（同32.7%増）となりました。また学生生活ソリューション事業の売上総利益は697,807千円（同6.5%増）、セグメント利益は270,806千円（同6.3%増）となりました。

その結果、各セグメントに配分していない全社費用428,487千円（同0.4%増）を調整し、全社の当第3四半期連結累計期間の営業利益は465,741千円（同56.5%増）となりました。

#### ③ 経常利益

当第3四半期連結累計期間の営業外損益は7,209千円となり、その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は472,951千円（前年同四半期比118.4%増）となりました。

④ 四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の特別利益に投資有価証券売却益268千円を計上いたしました。  
その結果、四半期純利益は300,050千円（前年同四半期比146.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,923,864千円となり前連結会計年度末に比べ867,798千円増加いたしました。この増加の主な要因は、現金及び預金が385,226千円の増加、販売用不動産が526,306千円の増加及び有形固定資産のその他が35,021千円減少したことによるものであります。

負債合計は7,001,729千円となり前連結会計年度末に比べ703,912千円増加いたしました。この増加の主な要因は、長期借入金（1年内返済予定分を含む）が491,500千円の増加、流動負債のその他が666,999千円の増加、固定負債のその他が39,103千円の増加、社債（1年内償還予定分を含む）が286,000千円の減少及び未払法人税等が209,073千円減少したことによるものであります。

また、純資産合計は4,922,134千円となり前連結会計年度末に比べ163,886千円増加いたしました。この増加の主な要因は、前期の剰余金の処分による配当金の支払134,999千円及び四半期純利益300,050千円を計上したことによるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の43.0%から41.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、不動産ソリューション事業における不動産マネジメント部門を中心に順調に推移いたしました。平成25年11月21日に公表いたしました通期業績につきましても順調に推移することが見込まれますが、今後の市場動向等を勘案し、現時点での変更は行ないませんが、今後の業績の進捗状況により開示すべき情報の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

なお、不動産ソリューション事業における不動産マネジメント部門において、サブリース物件（当社の家賃保証による一括借上）及び自社物件は、9年連続で4月入居率100%を達成しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日）

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,316,966	4,702,192
受取手形及び売掛金	45,829	36,330
販売用不動産	1,767,867	2,294,173
貯蔵品	16,664	10,883
その他	596,833	599,262
貸倒引当金	△60	△323
流動資産合計	6,744,100	7,642,519
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,297,674	1,297,674
その他(純額)	1,136,322	1,101,301
有形固定資産合計	2,433,996	2,398,975
無形固定資産	148,483	171,270
投資その他の資産		
その他	1,683,891	1,674,908
貸倒引当金	△373	△371
投資その他の資産合計	1,683,517	1,674,537
固定資産合計	4,265,997	4,244,782
繰延資産	45,967	36,561
資産合計	11,056,065	11,923,864
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,618	156,270
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	86,500	554,000
1年内償還予定の社債	453,600	453,600
未払法人税等	298,055	88,982
賞与引当金	79,700	65,430
その他	650,127	1,317,126
流動負債合計	2,717,600	3,635,408
固定負債		
社債	1,613,500	1,327,500
長期借入金	719,910	743,910
役員退職慰労引当金	194,460	203,460
その他	1,052,347	1,091,450
固定負債合計	3,580,217	3,366,320
負債合計	6,297,817	7,001,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	3,469,655	3,634,707
自己株式	△17	△17
株主資本合計	4,755,888	4,920,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,358	1,193
その他の包括利益累計額合計	2,358	1,193
純資産合計	4,758,247	4,922,134
負債純資産合計	11,056,065	11,923,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	6,627,078	7,172,710
売上原価	4,950,857	5,301,696
売上総利益	1,676,220	1,871,014
販売費及び一般管理費	1,378,655	1,405,272
営業利益	297,565	465,741
営業外収益		
受取利息	4,881	4,907
受取配当金	189	189
持分法による投資利益	—	43,673
経営指導料	14,068	14,237
その他	7,947	5,159
営業外収益合計	27,086	68,167
営業外費用		
支払利息	34,735	35,473
持分法による投資損失	46,798	—
社債発行費等	24,743	23,905
その他	1,859	1,578
営業外費用合計	108,137	60,957
経常利益	216,514	472,951
特別利益		
投資有価証券売却益	—	268
特別利益合計	—	268
特別損失		
固定資産除却損	945	—
特別損失合計	945	—
税金等調整前四半期純利益	215,569	473,220
法人税、住民税及び事業税	160,053	205,573
法人税等調整額	△66,167	△32,404
法人税等合計	93,885	173,169
少数株主損益調整前四半期純利益	121,683	300,050
四半期純利益	121,683	300,050

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121,683	300,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,362	△1,164
その他の包括利益合計	9,362	△1,164
四半期包括利益	131,046	298,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,046	298,886
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,309,488	1,317,589	6,627,078	—	6,627,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,309,488	1,317,589	6,627,078	—	6,627,078
セグメント利益	469,724	254,827	724,552	△426,986	297,565

(注) 1 セグメント利益の調整額△426,986千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業 (注) 3	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,774,101	1,398,609	7,172,710	—	7,172,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,774,101	1,398,609	7,172,710	—	7,172,710
セグメント利益	623,422	270,806	894,229	△428,487	465,741

(注) 1 セグメント利益の調整額△428,487千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 第2四半期連結会計期間（平成25年11月1日付）より、報告セグメントのうち「学生生活支援事業」を「学生生活ソリューション事業」に名称変更しております。当該変更は、セグメントの名称変更のみであり、セグメント区分に変更はありません。なお、前第3四半期連結累計期間についても変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(4) 重要な後発事象

該当事項はありません。